

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

かがやく山内西の子

山内西小 HP:<http://cms.saga-ed.jp/hp/yamauchinishi-e/>

武雄市立山内西小学校
学校だより 7号
令和8年7月2日発行
文責：校長 松尾 寛

昨日、全校で「平和を考える会」を行いました！

現在、サッカー北中米ワールドカップをはじめ、アメリカメジャーリーグの大谷選手の活躍等、スポーツの話題で盛り上がる毎日を過ごしています。一方、世界の中には紛争や戦争によって多くの尊い命が失われている悲惨な現実があります。この相反する中、私たちは、平和に対する思いを共有し、どうすれば国と国が武器ではなく、対話を通してより良い社会や世界を創っていきけるのかを考える必要があります。山内西小学校の校歌の最後は、「♪強く 優しく 賢(さか)しくて 平和の国を打ち樹てん♪」となっています。7月1日から6日までは、平和を考える週間として、子ども達と今一度、なぜ、平和が大切なのかを考える期間にしていきます。

今日、朝の時間から1時間目は、体育館で「平和を考える会」を行いました。黙とうをした後、「青い空は」を全員で歌い、私から以下のような話をしました。各教室に戻ったら、6年生が修学旅行で学んだことを各教室に出向いて発表することができました。

①学校の資料室の展示物から、81年前の戦争中の出来事に子ども達が向き合い始めました。

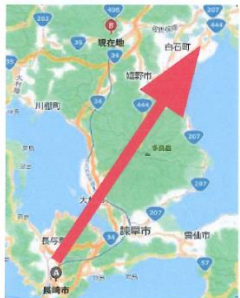
へいわ かんが かい
平和について考える会

やまうちょう のこ せんそう おお かな
山内町にも残る！戦争による多くの悲しみ



②1945年8月9日午前11時2分に、原爆投下による長崎市のきのこ雲が白石町で見えたそうです。

81年前の1945年8月9日午前11時2分 ピカ！ドン



ながさきのまちは、かわりはてた！

4000℃のねつと、びょうそく440メートルのばくふうによって



7まん4せんにんがなくなり、ながさきのたてものの3ぶんの1の12000こがもえてしまった。



③6年生が千羽鶴を追悼平和祈念館に供え、爆心地を訪れたことを伝えました。また、山内町内に、戦没者の氏名が刻まれた碑があることも伝えました。

ながさきし おと げんしばくだん
長崎市に落とされた原子爆弾

長崎の被爆地域



者の氏名が刻まれた碑があることも伝えました。

せんそうによって、わたしたちの山内町でもたくさんのいのちがうしなわれた。

山内町の人で戦争で亡くなった人達を、私たちが忘れないようにされている蒲池さんの話



これまでのせんそうでなくなったひとのなまえがきざまれています。

④山内町史下巻に記されている町民の被爆体験者の記述や、町内に飛行訓練場があったこと、当時の学校では戦争で戦うための準備がされていたこと、教科書に戦争に関する記述があったことを紹介しました。

やまうちのひとも、ながさきでひばく！

くぼさんは、げんしばくだんがおとされたところから、1.8キロメートルのこくてつながさききかんくで、じょうききかんしゃにせきたんをつんでいた。くうしゅうけいぼうがなり、そらをみあげるとひこうきがみえたしゅんかん、しろいろにちかいひかりがピカッとまぶしく、ドンとものすごいばくはつおんがした。すなほこりがひろがり、2～3メートルさきはみえなくなった。にげてもむだだとおもい、てをあわせてしをかくごし、めをとじた。ともだちだったよしむらさんは、すぐそとにでてため、かおにやけどをして10かほど、くるしみつづけてなくなった。くぼさんは、やまうちにのこしたおくさんのことがなによりもしんばいだった。すなけむりがなくなると、あつたはずのせきたんのそうこはなくなり、だれひとりいなくなった。ぼうくうごうがあるばしょにいくと、ながさきえきのじょししょくいん7～8にんがいた。せまってくるかじのひからまもるために、いっしょにやまのうえにげた。やまからみたまちは、まっかなほのうにつつまれ、にげるひとびとがなくなった。それから、しばらくは、なくなったひとたちをレールのまくらぎをつんでかそうするまいにちでした。3かげつご、みまさかえきからいえにもどり、おくさんとあえてうれしかった。

やまうちに、ひこうきのくんれんじょうがあった！



たけおちくのしょうがっこうのうんどうじょうが、わかものがかみかぜとつこうたいとして、てきのふねにぶつかっていくためのれんしゅうじょうになった。もともとの橋原では、つばきのはなはおちやすいので、なまえを、「鳥海が原滑空場（とのみがはらかっくうじょう）」とつけられた。

がっこうでは、せんそうでたたかうためのじゅんびがおこなわれていました

- ① さつまいもやじゃがいもをがっこうえんやうんどうじょう でそだてていた。
- ② たけでつくったやりをつかって、たたかうためのれんしゅうをおこなった。
- ③ せんそうでいえがもえるのをけすために、ぼうかくんれんをおこなった。
- ④ うさぎをそだてて、そのかわをせんそうでたたかうひとの ふくに つかった。
- ⑤ まつのきのねや、まつからでるあぶらを、くるまなどのね りょううにした。



きょうかしょにもせんそうのことがのっていた。



せんそうになると、かわってしまふ！ わたしたちのせいかつも、ひとのこころも

にほんじんも、がいこくじんも、いろいろなくにで 人のこころやせいかつをかえてしまった、せんそうを2どとしないことがたいせつである。

ちかくにいる、ともだちとなかよくし おたがいが、えがおになることをする

やさしく かしく たくましく

へいわ くに う た
平和の 国を 打ち樹てん

おこないや、かんがえ、いきるもくひょうを つくりあげること



⑤最後に子ども達に伝えたことは、戦争になれば、今の豊かな生活や人の心も変わってしまう。だからこそ、身近にいる友だちが笑顔になるよう、仲よくすれば、校歌にある「平和の国を打ち樹てん」につながっていくということです。世界の人々が平和に暮らせることを願いながら。